

# 図書館だより




5月13日(日)は「母の日」です。普段なかなか伝えられないお母さんへの感謝の気持ちを言葉できちんと伝えましょう。

### ◆「母の日」の由来◆

1907年5月9日にアメリカの教会で、ジャービス夫人の追悼式が行われました。その時に娘のアンナは母が好きだった白いカーネーションを参列者に手渡しました。これが「母の日」の始まりです。このことから、白いカーネーションは亡くなった母に、赤いカーネーションは健在の母に贈られるようになりました。その後、アンナと実業家のジョン・ワナメーカーが母の日の創設を提唱し、1914年には、5月の第2日曜日を「母に子どもが感謝する日」として祝日とすることが議会で決まりました。

(参考図書 『日本と世界の365日なんでも大事典』 ポプラ社)

**「母の日」にちなんだ本を学校図書館に展示しています。ぜひ読んでみてくださいね！**

### 『ムーミン童話』(全9巻)



些細な事でくよくよ悩んだりしない、いつでも冷静で落ち着いている、しっかり者のムーミンママ。ムーミン屋敷がいつも安全で愛に満ち溢れているのはムーミンママのおかげです。

### 『今日も嫌がらせ弁当』



生意気な態度の反抗期の娘に「仕返し弁当」を3年間作り続けた母。そしてそれを食べ続けた娘。爆笑必至の弁当とともに振り返る笑いあり涙ありのエッセイ集。映画化される予定です。

### 『おかんメール』



「いま神と化してるから待ちなさい」(正しくは、髪とかして)携帯電話を使い慣れないお母さんからのメールは誤字脱字のオンパレード。学校図書館には3巻まで入っています。



### 『ラプラスの魔女』著：東野 圭吾

若い女性のボディガードを依頼された元警官の武尾は、行動を共にするにつれ彼女には不思議な力が備わっているのではと疑い始める…。東野圭吾が小説の常識をくつがえして挑んだ空想科学ミステリー。櫻井翔さん主演で映画化され現在絶賛上映中です！

## 2018年 本屋大賞 受賞作品

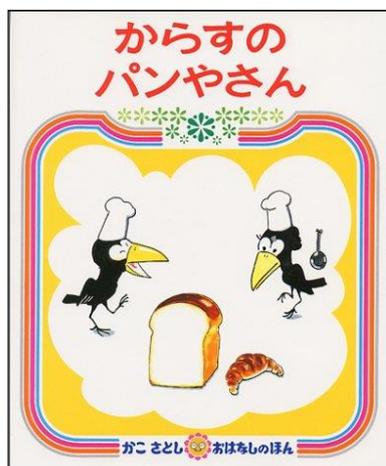
先月、本屋大賞が発表されました。過去一年間、書店員自身が自分で読んで「おもしろかった」「お客様にも薦めたい」「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票し、その結果で決まります。

順位	書籍名	作家
大賞	『かがみの孤城』	辻村 深月
2位	『盤上の向日葵』	柚月 裕子
3位	『屍人荘の殺人』	今村 昌弘
4位	『たゆたえども沈まず』	原田 マハ
5位	『A× アックス』	伊坂 幸太郎
6位	『騙し絵の牙』	塩田 武士
7位	『星の子』	今村 夏子
8位	『崩れる脳を抱きしめて』	知念 実希人
9位	『百貨の魔法』	村山 早紀
10位	『キラキラ共和国』	小川 糸

今回受賞された作家さんは、他にもステキな作品を書かれています。学校図書館の「本屋大賞コーナー」では、これらの作家さんの他の作品をたくさん展示しています。ぜひ借りて読んでくださいね！



今月2日に絵本作家、児童文化研究家の加古 里子(かこ さとし)さんが92歳で亡くなりました。代表作に『だるまちゃんとてんぐちゃん』『からすのパンやさん』などがあります。皆さんの中にも、読み聞かせをしてもらったり、自分で読んだことがある人もいないのでしょうか？



### 『からすのパンやさん』かこ さとし

カラスの町「いずみがもり」にある一軒の売れないパン屋さん。お父さん、お母さん、4羽の子ガラス、家族みんなで楽しい形のパンをどっさり焼いた。パンを買いにやってきたカラスの子ども、おじいさん、おばあさん、消防士さん、そしてなぜかテレビのカメラマンさんまで。カラスの森は大騒ぎ。80種類以上の楽しくておいしそうなパンが描かれていて、見ているだけで幸せになります。

